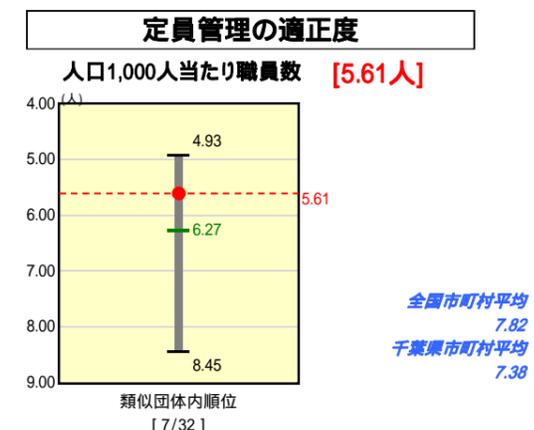
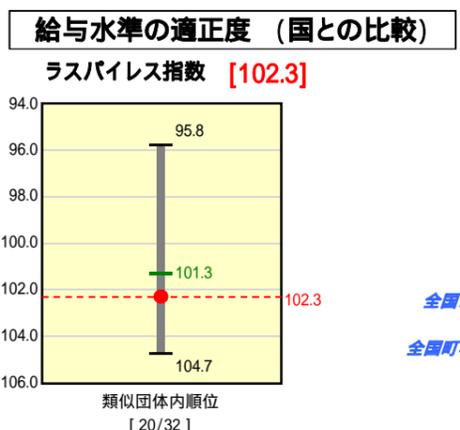
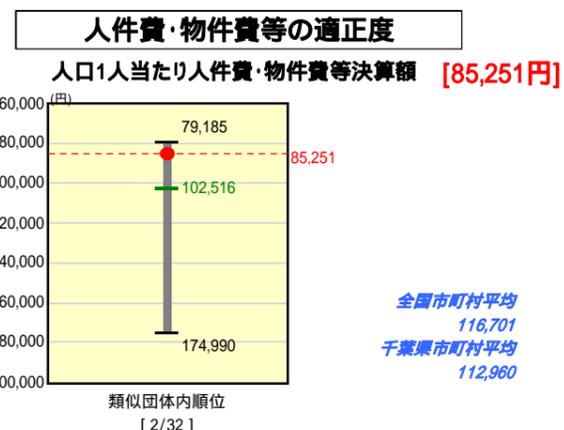
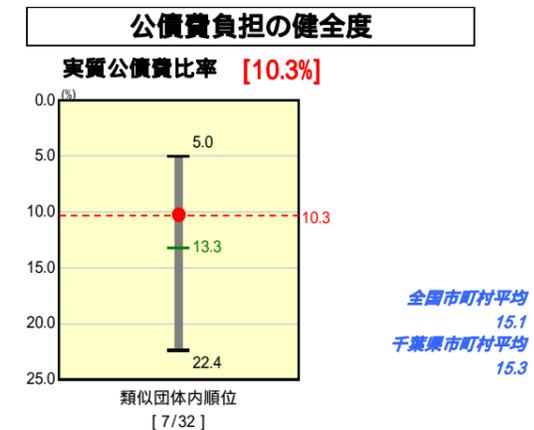
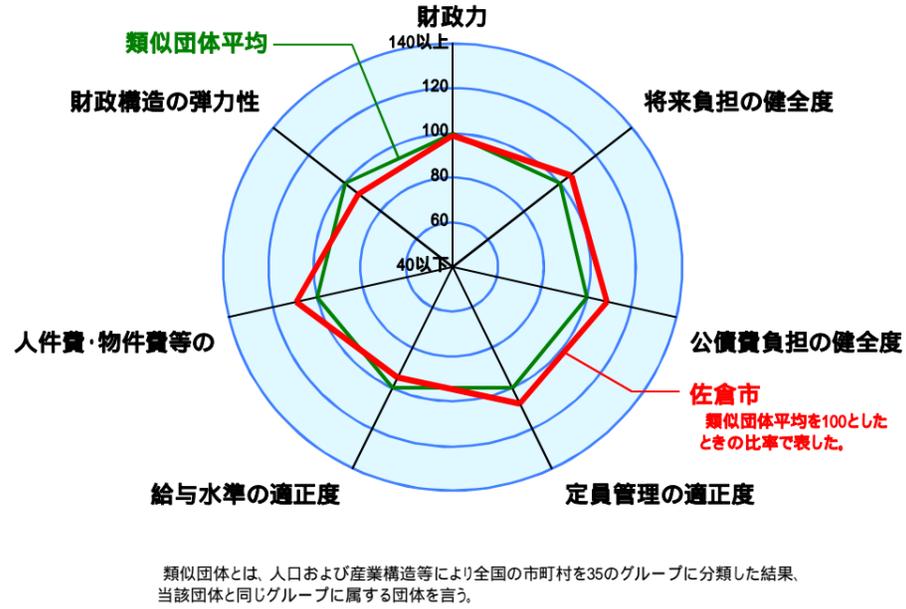
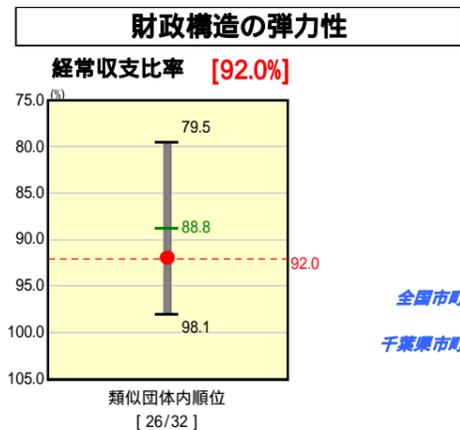
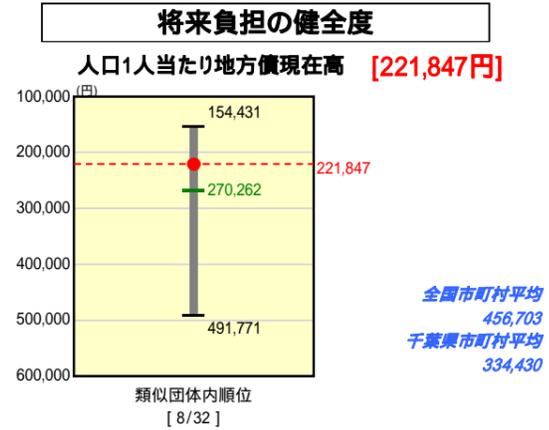
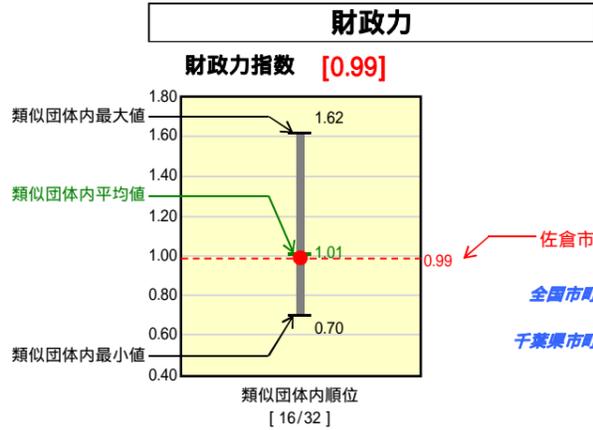


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

千葉県 佐倉市

人口	175,126 人(H19.3.31現在)
面積	103.59 km ²
歳入総額	38,545,110 千円
歳出総額	36,938,092 千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
前年度から0.01ポイント増加したものの、類似団体平均をわずかに下回っている。今後も、財源確保等財政基盤強化に努める必要がある。

経常収支比率
ここ2年間で4.5ポイント改善し、財政の硬直化に歯止めがかかった傾向にあるものの、類似団体平均と比較すると3.2ポイント上回っており、今後も引き続き財源確保、経常的経費の歳出削減に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
類似団体平均を17,265円下回っているが、これは、経常的経費の削減、定員適正化改革による人件費削減に加え、一部事務組合を多く抱えるために、他の団体では人件費・物件費となるものが負担金として支出されていることも影響している。

ラスパイレス指数
類似団体平均を1ポイント上回っているが、今後も引き続き人事院及び千葉県人事委員会の勧告を尊重し、給与水準や給与制度について適正化に努める。また、手当等適正化についても努力を続ける。

人口1人当たり地方債現在高
地方債残高は平成11年度末をピークに減少に転じており、前年度から7,609円減少している。地方債残高をさらに減少させるため、新たな地方債の発行を元金償還金の範囲内に納める方針としている。

実質公債費比率
類似団体平均を3ポイント下回っている。各年度ごとの公債費の額は、今後、一旦微増となるが、長期的には地方債残高の減少とともに減速すると見込まれる。一部事務組合等についても地方債発行の抑制について協力を求めている。

人口1,000人当たり職員数
適正な人事管理により、類似団体平均を0.66人下回っている。市民ニーズの高度化や多様化に伴う行政需要の増加やさらに地方分権の推進に伴う行政需要の増加に対し、弾力的かつ的確に対応するために、民間委託の推進を含めた事務事業の見直し、OA化の推進、組織の活性化、再任用職員や臨時職員等の活用等を積極的に進め、よりいっそう適正な定員管理を推進する方針である。(定員適正化計画)